

地域包括支援センターだより



## 「認知症初期集中支援チーム」を結成

市では、昨年12月から「認知症初期集中支援チーム」を結成しました。これは、認知症の症状が悪化する前に適切な医療やケアにつなげることや、認知症の人の介護者への支援強化を主な目的としたものです。認知症サポート医として佐野医院の佐野克弘院長に協力をいただき、地域包括支援センターの職員が、チームで支援を行います。

### 【どんなことをしてくれるの？】

認知症に関する心配ごとや困りごとの相談を受け、チーム員が家庭訪問などを通して、ご本人・ご家族の状況に合わせた医療機関の受診や介護サービスの利用、ご家族の介護負担を軽減できるよう支援を行います。

### 【対象となる人は？】

認知症が疑われる方や認知症の方で、「生活に支障が出ているが、必要な医療や介護サービスを利用していない人」や「何らかのサービスを利用しているが、認知症の症状が強く、周囲の人が対応に困っている人」などです。

●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111（内線365）  
または各支所地域振興課地域福祉室

相談窓口は地域包括支援センターおよび各支所地域振興課地域福祉室です



支援チームの認知症サポート医  
佐野医院 佐野克弘院長

## お互いさまの心で

# 高齢者をみんなで見守りましょう

— 2月は「高齢者見守り強化月間」です —

雪が降り始め積雪が多くなると、ひとり暮らしの高齢者などは、家に閉じこもりがちになります。雪で足元が悪く、高齢者用の押し車や電動カートなども使用できなくなり、外出しづらくなるためです。

高齢者だけの世帯では、冬場は日用品の買い物も困難になり、外に出て近隣の人や友人と会う機会も減ってしまい、日ごろの生活の様子がわかりにくくなります。

現在、市内の高齢者のみの世帯は、約6,600世帯あります。高齢者が、安心して住み慣れた地域に住み続けることができるよう、町内や集落など地域の皆さんで、声かけやちょっとした除雪の援助などの温かなご支援をお願いします。



▲老人クラブでは高齢者宅への「見守り  
支え合い訪問」を実施しています

例えば、

- ・ごみ出しなどの「ついでに」の協力が大きな支援につながります
- ・除雪車が通った後は、お互いさまの心で玄関など出入り口の除雪支援をお願いします
- ・配布物、回覧板などを届けるときは、声かけをお願いします
- ・夕方、家の明かりが点いているかの確認もさりげない支援です
- ・「風邪をひいていませんか」などの声かけも大きな見守りです

お近くの高齢者の様子がいつもと違うなどの異変を感じた場合には、ご連絡をお願いします。

●問い合わせ 介護高齢課高齢福祉係 ☎53-2111（内線367）  
または各支所地域振興課地域福祉室